



中央アジア文化交流ミッション第三弾 11月にタジキスタン、キルギス、カザフスタンを訪問 コシノジュンコ氏らミニファッションショー、DRUM TAO 和太鼓公演も開催

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、11月1日から7日まで、中央アジア文化交流ミッション第三弾として、タジキスタン、キルギス、カザフスタンへ、文化交流ミッションメンバー6名を派遣します。

国際交流基金では、2015年の安倍晋三総理大臣による中央アジア諸国歴訪を受け、中央アジアを「重点地域」の一つと位置づけてこの地域との交流深化に力を注ぎ、幅広い分野の文化交流事業を企画・実施しています。その一環として、様々な分野の専門家・有識者で構成される文化交流使節団（ミッション）の第一弾を、2016年8月2日から5日にかけてウズベキスタンに、第二弾を、2017年4月19日から24日にかけてトルクメニスタンに派遣しました。今般、第三弾としてミッションメンバー6名を派遣します。

今回のミッションでは、前半（11月1日～3日）にメンバーを2グループに分け、タジキスタンとキルギスに派遣した後、後半（3日～7日）にカザフスタンで両グループが合流することとしています。まず、タジキスタン、キルギスでは、特に若者層において日本のアニメ、漫画、音楽等が楽しまれているにも関わらず、日本との文化交流はまだまだ不十分なのが現状です。そのため、両国訪問中には、現地の有識者・文化人の方々と面談・意見交換に加え、文化イベントを開催します。タジキスタンにおいてはコシノジュンコ氏と現地の著名なデザイナーであるナフィーサ・イムラノヴァ（Nafisa IMRANOVA）氏によるミニファッションショーを同国のドゥシャンベ市内で実施し（2日）、キルギスにおいては各ミッションメンバーによる講義、セミナー等を開催します。

また、カザフスタンにおいては、今年9月まで3か月にわたってアスタナ市で開催された「アスタナ国際博覧会（アスタナ万博）」での日本館出展により高まった日本との友好関係がさらに強化されるように、同地において有識者・文化関係者らとの意見交換を行うと共に、各種講演会等のイベントも開催します。4日には、世界的に人気が高まっている大分県に拠点を置く和太鼓パフォーマンス・グループDRUM TAOによる公演も予定しており、現地の方に日本の文化を楽しんでいただく機会を提供します。

これらの活動を通じ、今後、日本とタジキスタン、キルギス、カザフスタンの関係をさらに深く発展させていくにはどのような文化交流が事業を行うべきか等についても調査・検討してまいります。

■中央アジア文化交流ミッション第三弾 実施概要

- 【派遣国】 タジキスタン、キルギス、カザフスタン
- 【スケジュール】 2017年11月1日～7日（メンバーにより、一部参加日程が異なる）
- 【メンバー】（写真左から、敬称略、五十音順）
 - 安藤 裕康（国際交流基金理事長）
 - 河東 哲夫（Japan and World Trends 代表）
 - コシノ ジュンコ（デザイナー）
 - 小松 久男（東京大学名誉教授、東京外国語大学特別教授）
 - 鳥 信彦（ジャーナリスト）
 - 西原 鈴子（特定非営利活動法人日本語教育研究所理事）

※文化ミッションメンバーである中山恭子・参議院議員及び矢内廣・ぴあ株代表取締役社長は、業務都合につき不参加。



写真：高木あつ子

写真：相川健一

主催者・本事業に関するお問い合わせ： 国際交流基金 企画部事業戦略課（担当：日下部、山崎）

Tel: 03-5369-6058

取材に関するお問い合わせ： 国際交流基金コミュニケーションセンター（担当：二村、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

■和太鼓パフォーマンス・グループ DRUM TAO について

日本の伝統楽器を用いつつ、多彩なジャンルのメロディーと、ファッションやスポーツの要素まで取り入れた、既成概念に囚われない現代日本の総合エンターテインメントとして評判を呼んでいる DRUM TAO は、「世界で通用するエンターテインメント」を目指して 1993 年に愛知県で結成、1995 年からは大分県竹田市久住町に拠点を移して活動を続け、これまで全世界 23 カ国・500 都市以上で 700 万人を動員しています。

<公演日・会場 (予定) >

2017 年 11 月 4 日 (土) Hilton Garden Inn Astana

主催：国際交流基金

共催：在カザフスタン日本国大使館



■文化交流使節団「中央アジア文化交流ミッション」について

中央アジアは、天然資源が豊富で、ユーラシア大陸の中心に位置するイスラム圏として地政学的な重要性も非常に高く、今世界が注目している地域です。世論調査の結果では中央アジアの人々の日本に対する好感度は大変高く、また日本でもロマン溢れるシルクロードの国々に憧れを抱く人が多くいると言われる一方で、お互いについての具体的な知識や情報は少ないのが現状です。こうした状況を踏まえ、国際交流基金では、集中的に多岐にわたる文化交流事業を実施することを通じ、相手に対する漠然とした好印象を、偏りない知識に裏付けされた確かな相互理解に繋げ、また共通の課題に共同で取り組むことで価値観の共有を確認し合い、「遠くて遠い国々」を「遠くて近い国々」にしていくことを目指します。